

# 私と剣道と夢

鳥取市立城北小学校 六年 大門 なな花

私は剣道を小学三年生からやっています。始めたきっかけは、姉がやっていて楽しそうだったからです。剣道では、技を決めるとき気合の入った声を出します。私も声を出すのが好きなので、声を武器にして、出来るのは楽しそうだと思います。また、練習がとても厳しそうだったので、剣道をする心が強くなりそうだと思います。

今年私には、絶対勝たなければいけない試合が一つありました。それは、鳥取県の強化選手を決める試合でした。これは、県内の五、六年生が試合をして、ベスト十六に入れば、県の強化選手候補になれるというものです。私は、昨年この試合で、十六人に入れず、悔しい思いをしました。あと一回勝てていれれば入ることが出来たのに。だから、「今年は、絶対に入つてやる。」という気持ちで試合に臨みました。

いよいよ試合当日になりました。試合表を見ると、私はシードで、二回戦からになっていました。そのとき昨年の結果が生かされていて、うれしい気持ちになりました。シードなので二回戦目の相手の試合を見ることが出来ます。どちらが二回戦に上がってくるのか、どうすれば勝てるのか考えながら見ました。

私の試合が始まりました。二回戦は余裕を持って勝つことが出来ました。次の試合を勝てば、強化選手候補になれます。相手は、私と同じくらいの身長で小さかったので、先生が、

「苦手なタイプかも知れないががんばれ。」

とおっしゃいました。私は、この相手なら、面を打ったら、入るかもしれないと思いました。いろいろな技を出しました。しかし、どちらも決まらず、延長戦になってしまいました。かなり試合は長くなり、いつものようにはき

気がしてきました。いっしゅん、「もうえらくて、あきらめようかな。」と思いました。でも、「絶対に、勝つ。」という気持ちを強くもち、がんばりました。

「めえん。面あり。」

というしん判の声が聞こえました。元の位置にもどりしん判を見ると、私の方に三本旗が上がっていました。心の中で、「よっしゃあ。」とさけびました。

女子で選ばれたのは、私一人でした。でも男子に負けずがんばろうと思いました。また、姉も、インターハイに向けて練習にはげみどんどん上達していたので、私もがんばろうと思いました。

私には夢があります。それは学校の先生になることです。学校の先生になるためには、強い心が必要です。だから、私はこれからも剣道の練習を一生けん命して、強い心を作っていきたいです。そして、剣道を通して、学んだ「人は努力すれば必ずむくわれる。」ということを子どもたちにも伝えていきたいです。一人でも多くの子どもが私の経験を通して、「がんばろう。」と思ってくれるとうれしいです。私自身も、もっともっと努力して、強くなりたいです。